

アルパカの赤ちゃんが誕生しました！



2017年6月30日（金）に、マザー牧場（千葉県富津市）でアルパカの赤ちゃんが生まれました。マザー牧場生まれのアルパカとしては6頭目で、お母さんからくっついて離れない甘えん坊の男の子です。“トラクタートレイン”に乗って様々な動物に会いに行く「マザーファームツアー」で見ることが出来ます。

☆☆誕生から現在の様子☆☆

2017年6月30日午前9時頃、スタッフが畜舎でお母さんアルパカの“ピッピ”が産気づいている事に気が付きました。赤ちゃんアルパカが大きめであったため、頭が出たところで少し疲れてしまったのか、途中でお母さんアルパカが動きを止めてしまいましたが、スタッフが根気強く手伝いをし、11時頃に無事誕生しました。

アルパカ担当スタッフの櫻井によると「お母さんに似てちょっぴり怖がりだが、好奇心はかなり旺盛」との事。初産ながら面倒見のいいお母さんアルパカとスタッフに見守られながら順調に成長し、誕生時6.4kgだった体重も7月12日の測定では8.5kgまでに増えています。

今回生まれたアルパカは、これまでマザー牧場で生まれた赤ちゃんの中では1番大きく生まれてきました。お母さんを見習って、早くも青草をむしゃむしゃ食んでいる様子も見受けられ、かなり食いしん坊のよう。将来子孫を残すお父さんとして力強く生きてほしいという想いをこめ、“カ”という文字を”リキ”と読み、“**リッキー**”と名付けました！

現在は、少しずつ時間をかけて屋外に慣らしています。放牧した際は、お母さんを真似て砂浴びをしたり、お母さんにくっついて歩いたり赤ちゃんらしい様子などが見られます。

体調が安定していることから一般公開も始めており、「マザーファームツアー」にご参加いただいたお客様に、親子で過ごす様子をご覧頂いています。

【リリースに関してのお問合せ先】

発信元：株式会社マザー牧場 〒299-1601 千葉県富津市田倉 940-3
TEL.0439-37-2875 FAX.0439-37-2100
担当：宣伝課 石井・保田・星野・佐藤